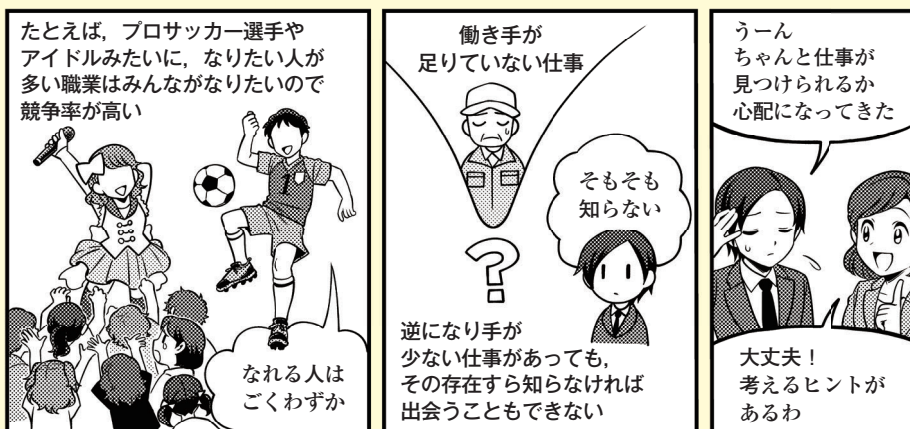
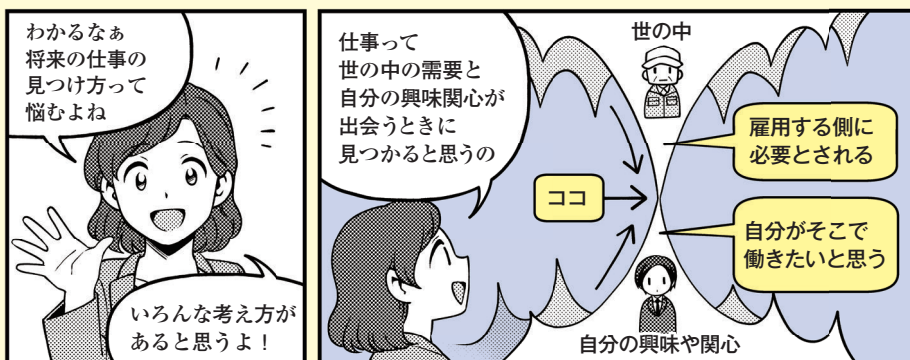


「大人になる」って、「自分も他人も幸せでいられる生き方」を探し続けること。

世の中の需要と自分の興味関心

右のまんがを別の角度から考えてみましょう。雇用する側に必要とされる（＝需要がある）場合と、自分自身に興味関心がある（＝供給がある）場合、そのバランスが合致したときに仕事が見つかるといえます。



マインドマップとは

思いついたアイデアを短いことばで次々と記載していき、つなげていく手法のことで、思考の整理に役立ちます。ウェビング、イメージマップなどともよばれます。



持続可能な世界とするために SDGsを経済の流れに うまく組み込もう

SDGsに貢献する ソーシャル・ビジネス

社会の課題を解決するための方法として、寄付やボランティアがあります。しかし、ボランティアは、寄付などでお金を集められないと活動できなくなる問題があります。

一方、SDGsに貢献するビジネスとして、1983年にバングラデシュの経済学者ムハマド・ユヌスが創設したグラミン銀行が知られています。グラミン銀行は貧困層に比較的低金利で少額の無担保融資を行うことで、新たな事業ができるように手助けしました。グラミン銀行とユヌスは2006年にノーベル平和賞を受賞しました。こういった貧困や環境問題などの社会課題の解決を目指して行うビジネスを「ソーシャル・ビジネス」とよびます。

ソーシャル・ビジネスって、普通の会社とどう違うんですか？

一般的な会社では金銭の利益を追求します。ソーシャル・ビジネスでは、金銭より社会的な利益を追求することを大切にしています

消費者の立場から、どうやったらSDGsに貢献できますか？

エシカル消費やフェアトレードという概念があります。教科書で調べてみましょう

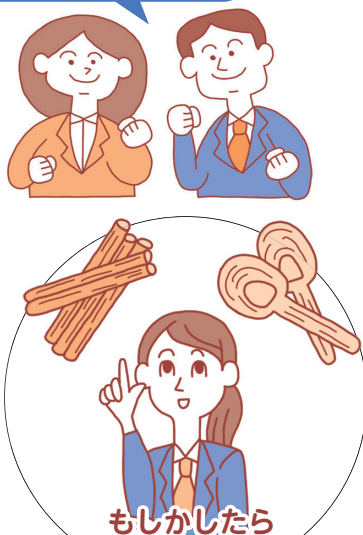
SDGsを実現していくためには
担い手である私たちが「挫折せずに持続していけること」も必要だ。
そのためには、理念だけではなく
実践的な活動を経済の流れに組み込まないといけない。

たとえば、企業がSDGsに取り組むようになるには
どうしたらよいだろうか？
企業は営利団体なので、
経済的なメリットがわかると取り組みやすくなる。

SDGsに取り組んでいる会社がいい！



SDGsに取り組まないと、お客さんや出資者から相手にされなくなるかもしれないのでやってみようか



もしかしたら
自然素材でつくった新商品が
ヒットするかもしれない

SDGs 関連にはビジネスチャンスがあるかもしれないのでやってみようか



SDGsに取り組まないと、優秀な人材が採用できなくなるかもしれないのでやってみようか